

1.経緯

当社は、企業の環境対策の必要性を認識し、2006年5月にISO14001の導入を決定した。その後、環境管理システムの構築を進め、2007年4月及び6月(財)日本自動車研究所(通称JARI-RB)の環境審査を受け、2007年6月15日にISO14001の認証を取得した。(登録番号JAER0740)

2. 環境上の重点活動

環境目的に対する重点活動は以下の通りである。

①-1環境管理システムの構築

ISO14001 環境管理システムを導入し、要求項目に沿ったシステムを構築する。
-ISO14001認証の取得(1.経緯 参照)

①-2法規制の順守

環境関連法を順守し、順守状況を確認する。主な監視項目及び結果は以下の通りである。

3.環境方針

- ①当社は、民間車検及び整備の指定工場であり、資源エネルギーを浪費せず環境負荷の少ない事業活動を展開する。
- ②当社の車両サービス活動の中で環境に及ぼす影響を予測・評価して、適正整備及び環境管理を行うとともに、継続的改善と汚染の防止に努める。
- ③国、地方公共団体などの環境に関する法規及びその他の要求事項を遵守する。
- ④地域、地球環境を守る為、有害物質の削減・省資源・省エネ・廃棄物低減などの環境目的・目標を具体的に設定し、定期的に見直す。
- ⑤環境管理の手順を文書化し、環境教育、啓発活動を行い、自覚と責任を持って環境を大切にすることを従業員を育成するとともに、地域社会との共存共栄を目指す。

4.環境上の重点活動

環境目的に対する重点活動は以下の通りである。

①-1環境管理システムの構築

ISO14001 環境マネジメントシステムを導入し、要求項目に沿ったシステムを構築する。

-ISO14001認証の取得(1.経緯 参照)

①-2法規制の順守

環境関連法を順守し、順守状況を確認する。主な監視項目及び結果は以下の通りである。

監視項目	管理方法	実施事項、測定結果			
産業廃棄物	産業廃棄物発生時にはマニフェストを発行し適正に管理されているかどうかを監視する。	マニフェストの管理			
騒音・振動	騒音規制法・振動規制法により、境界線上において定められた規制値以上の騒音、振動が発生していないかを監視する。 日時:2009年3月14日 測定地点:コンプレッサ室南側境界線上	測定時間	規制値	測定値	
		騒音	am8:30	50.0db	62.9db
			pm5:00	45.0db	62.7db
振動	測定値なし				

評価

法令で定められた規制値を上まわりますが、近隣住居とは近接していない為、今のところ苦情その他影響はないが、今後とも監視を続ける。

②環境影響評価による重点実施事項

環境に与える影響の大きいものを評価(環境影響評価)し、重点活動として取り上げた。主なものは右の通りである。

③外部コミュニケーション

公官庁、地域住民、関係業者など、より良い関係を築きあげている。なおも継続してより良い関係を深めていく。今回も、前回に続きジュニアインターシップを行いました。近隣の中学生を受け入れ早期就業体験をしていただきました。

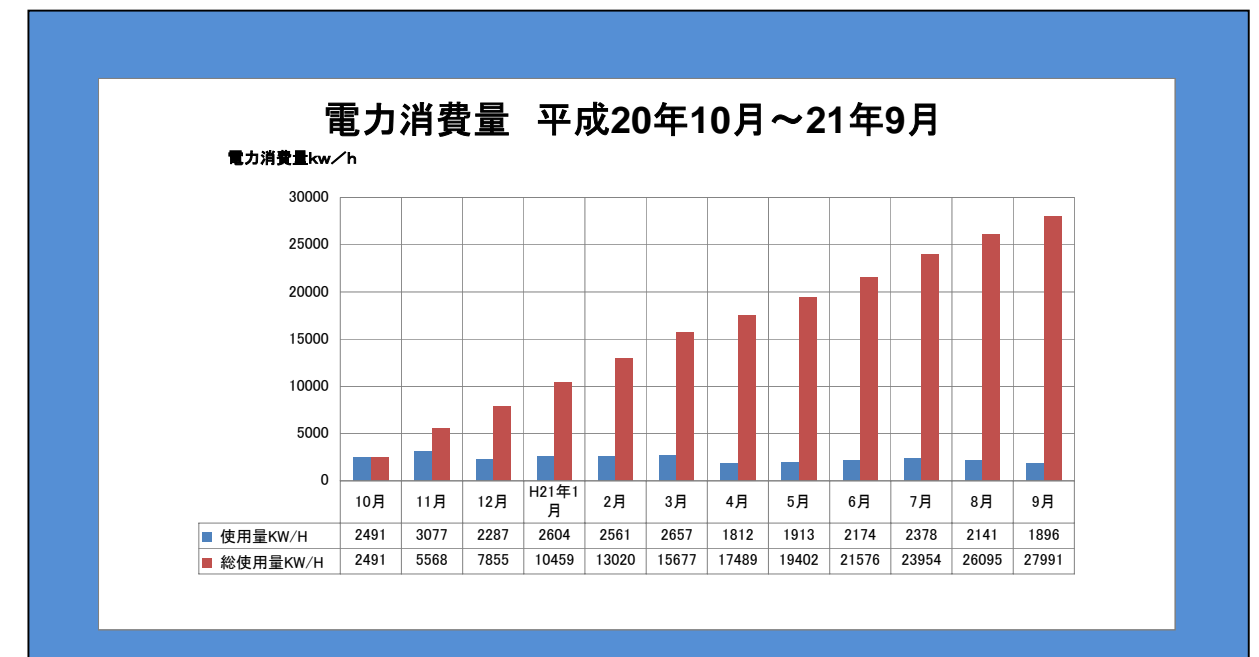


④

- * 上記実施事項や環境管理システムを定期的に見直し、地域社会とより良い関係を築き、またより良い企業としても発展していけるよう継続的に改善を行う。
- * 関係業者には当社の環境管理活動に協力していただくよう依頼する。従業員には、環境の為に良い活動、教育を行う。

②-1電力消費量推移

電力使用量は前年も大幅な削減がされた、今回の目標を前年消費量実績の37,500kw/h(5年間5%削減)の98%である36,750kw/hを目標とした。主な改善点としては、前年同様、節電意識の向上は基より不要時の消灯、コンプレッサ電力量削減の為の日常点検、工場内照明節約など全般的に行われた結果、削減結果が大幅に目標値を下回ることが出来た。



②-2水道使用量推移

水道料について前回同様の大幅な削減(目標712m³⇒646m³)ができた。前年使用量650m³(5年間5%削減)を目指(643m³)した結果、今期は前年により累積目標5%削減(657m³⇒643m³)を達成することが出来できなかったが、前年より削減された、来期も637m³を目指してゆく。

